

ひがしみの

Heartful Communication



耕そう、大地と地域の未来。



特集

飛騨美濃特産名人
誇れる技術を次世代へ



飛騨美濃特産名人とは・・・

飛騨美濃特産名人認定制度は、卓越した技術、見識を有し、地域の農業振興に多大に貢献された方々を岐阜県知事が名人として認定している制度です。

東美濃管内においても、18名が認定され、飛騨美濃特産名人として活躍しています。さらに、そんな名人の技術を次世代へ繋げています。



なす

現在までに3人の名人が認定されています



東美濃なす生産協議会は、生産者54戸が約2、3haで夏秋なすを栽培しています。夏季の冷涼な気候を活かして栽培され、なす紺鮮やかでおいしいと好評を得ています。ぎふクリーン農業を実施し、安全・安心ななすを消費者に届けています。

東美濃管内のなすは、県内外の消費者からも評判がよく、毎年視察に訪れます。現在までに3名の名人が認定されています。

熊谷 晴夫さん[平成24年度認定]

夏秋なすの生産17年目を迎え、その前は小なすの栽培を13年と30年近く生産を行う熊谷さん。中津川夏秋なす生産組合長・副会長を8年努めるなど、役員として地域の生産振興に貢献するとともに、地域において新規就農者の圃場を巡回し、生育状況に応じた、技術的なアドバイスを熱心に行っていることや収穫量の高さなどが評価され、認定されました。

「美味しい」と言われる喜びを活力と自信にし、こだわりのなすを生産。毎年1年生で、その年々によって違うため日々試行錯誤を行っています。中津川地域の組合メンバーで旅行に毎年行くなど、栽培が仲間づくりにも繋がっています。新規就農者が増え、東美濃の夏秋なすをもっと広めたいと話します。

圃場巡回

同協議会は、栽培技術の向上と、品質統一のため圃場巡回や研修会を毎年開催しています。7月7日、役員が生産者の圃場巡回を行い、土壌病害などの防止に向け、生育状況を確認しました。



圃場視察



定植を学ぶ参加者

チャレンジ塾を毎年開催



新規就農者獲得に向け、定年退職後に就農を考える人や家庭菜園からさらに専門性を高めたいと考える人を対象に参加を募り、生産者の育成と栽培技術の向上を目指しています。同チャレンジ塾では、先輩農家の圃場視察や定植体験などが行われるなど、実践的に学ぶことができます。



誇れる技術を次世代

トマト

健全な土づくりで、味の濃いトマトを栽培



東美濃トマト生産協議会は、生産者131戸が約19.6haで夏秋トマトを栽培しています。中山間地の昼夜の寒暖差で育つからこそ高品質で美味しいと好評で県内では2番目に多く生産しています。50年を超える産地の歴史があり、根の伸びやすい健全な土づくりで、味の濃いトマトを栽培しています。ぎふクリーン農業も実施しています。

現在までに4名の名人が認定されています。



根崎 義治さん
[平成5年度認定]

今年で52作目を栽培する根崎さん。収量の高さや恵南トマト協議会長として生産拡大に貢献したことや長年の実績を評価され認定。堆肥から自ら手づくりし、有機質主体の肥料を昔からずっと変わらず使用しています。土づくりにもこだわり、味が良いトマトを生産し、新規就農者などが、根崎さんに相談に訪れるなど、トマトづくりのベテランです。

今後さらに組合のつながりを深め、長い歴史のあるこの産地をもっと強化していきたいと話します。



瀬瀬 輝己さん
【平成26年度認定】

栽培管理を徹底しており、秀品率や可販収量が高く、収益性が高いことや防虫ネット、近紫外線カットビニールなどの農業資材を先進的に導入。現地への普及の円滑化などが評価され、

認定された瀬瀬さん。父親の源吾さんも平成2年に認定されています。

ミネラル豊富なトマトをつくるため、土づくりには最もこだわります。20歳から就農し、今年で43年目。32年前、桃太郎トマトの生産に取り組み、いち早く元祖桃太郎トマトの産地を確立させました。加子母のきれいな水や空気を活かし、全国の生産地に負けない風土づくりを大切にしています。収量だけでなく、こだわりのトマトで他の産地とは違うトマトを売りに、今後も拡大していきたいと話します。

■ 新規就農者



栽培体験を行う参加者

東美濃夏秋トマト生産協議会は、今年度より、トマト栽培研修を3つのコースに分け開催しています。

従来は栽培研修会は、同じ研修内容で参加者の募集を行っており、就農へ向けてもっと本格的に学びたい参加者や、興味があるが本格的にはまだ始めれない参加者が気軽に参加出来ないという課題があり、そんな課題の解決に向け、参加者の学びたい内容に合わせてコースの選択が可能となりました。

3コースとも先輩農家の指導のもと研修が可能です。





東美濃栗振興協議会は、182戸96haの圃場で栗を栽培しています。低樹高、超低樹高の技術導入により、剪定管理作業の省略化と経済樹齢の延長、全国平均の3倍以上の単収270kgを実現しています。

「剪定技術認定制度」をつくり、産地の維持拡大に貢献しています。

飛騨美濃名人に東美濃管内でもっとも多くの生産者が認定されており、歴代7名が認定されています。



榊間 信明さん
[平成25年度認定]

選果体制の改善や担い手育成を目的としたさまざまな企画を推進し、近年の産地規模拡大に貢献しているとして認定されました。栽培を始め

26年目を迎え、栗への愛情は誰

にも負けない榊間さん。手間をかけ愛情をかけると自分の思いが伝わり、栗が応えてくれると話し、木1本1本大切に生産しています。平成18年からプロジェクトに参加し、栽培見学ツアーや基本講習会、チャレンジ塾と担い手育成に向け、積極的に活動しています。また、新たな選果体制を確立し、生産者の負担軽減と効率化のアップに貢献しました。

産地拡大に向け、新規生産者の育成と、集団栗団地をつくり共同で生産を行っていきける体制づくりにも今後関わっていききたいと話します。

■ チャレンジ塾

担い手育成に向け、新たに栗の栽培を始めた生産者やこれから栽培を考える人などを対象に平成19年より開催し、306名が受講し、約120名が新たに栽培を始めています。



栽培講習を行う参加者



土屋 厚子さん
[平成25年度認定]

栽培部門で女性で初めて認定された土屋さん。栗の栽培と同時に

栗きんとん講座の講師も務め、地域の食文化の

伝承に貢献したとして認定されました。就農

35年で、基礎を大切にし、栗の産地としてのPR

活動を強化しています。

新たな担い手育成や地元小学校で栗の授業を行うなど、食育教育にも力を入れています。栗の一大産地としての伝承に力を入れていきたいと話します。



講習を行う榊間名人

■ 栽培技術講習会

季節ごとの栽培研修を開催し、夏と冬の2回剪定講習会を行っています。また、クリ栽培の基本技術講習会も行っています。



畜産

安全・安心な飛騨牛生産に尽力



東美濃肉牛生産組合は生産者37戸で組織され、年間約1,600頭の飛騨牛を出荷しています。過去に他県で発生した口蹄(こうていえき)の対策として、飼料として与える稲わらはすべて県内を中心とした国内産にこだわっています。

また、消費者目線に立ち枝肉研究会等を開催し、更なる品質向上と信頼確保のため事業を展開しています。



丹羽 忠重さん

[平成3年度認定]

長年の経験や県共進会での最優秀賞受賞などの功績が認められ、平成3年に認定された丹羽さん。肥育経営40年を超えるベテランです。

現在は、自身で和牛去勢58頭を飼育し、後継者の息子さんが130頭を飼育しています。若いときから地域の生産組織の役員を歴任し、「飛騨牛」銘柄設立に尽力しました。品質の優れた肉牛生産のために、環境にこだわり牛にストレスを与えないよう心掛けています。「飛騨牛」は今年度銘柄設立30年を迎えます。更なる銘柄の発展のためにも、若い世代の活躍を期待していると話します。



栗・トマト・なす

栽培見学ツアー参加者募集

- 定年退職で第2の生きがいとして農業に挑戦してみたい方
- 栗・トマト・なすなどを作ることが好きな方で、将来就農を考えている方

日 時 栗コース ……平成29年8月20日(日) 8時30分～12時
 トマトコース・なすコース (それぞれのコースに分かれます)
 ……平成29年8月27日(日) 13時30分～16時30分

集合場所 JAひがしみの本店

日 程 JA本店→農家視察→中山間農業研究所(栗)／選果場(トマト・なす)→JA本店

お問い合わせ・お申し込み JAひがしみの営農部 TEL:(0573)78-0137

栗コース……………担当: 河野 **メ切** 8月16日(水)

トマトコース・なすコース… 担当: 水野 **メ切** 8月23日(水)

生きがい
かあ…



夏秋トマト出荷本番 目揃え会で品質統一へ

東美濃夏秋トマト生産協議会が生産する夏秋トマトの出荷が6月17日より本番を迎えました。11月中旬までに主に京都・岐阜・名古屋市場へ前年比2%増の1930トの出荷を見込んでいます。

6月30日には同選果場で目揃え会が行われ、生産者や市場行政、JA関係者など約70名が集まり、販売情勢や出荷規格、出荷方法を確認しました。中津川夏秋トマト生産組合の鷹見会長は「安定した出荷で高品質な美味しいトマトを消費者に届けよう」と呼びかけました。



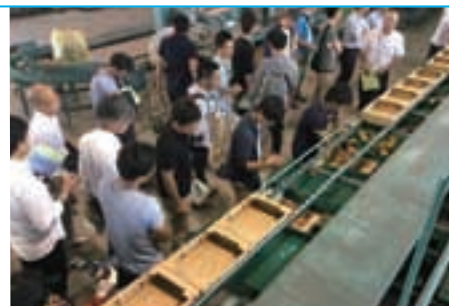
規格を確認する生産者

おおさかパルコープの職員が産地を訪問 こだわりトマトを実感

生活協同組合おおさかパルコープは、7月23、24日、職員25名を対象に加子母トマト産地研修を行い、当JAを訪れました。

毎年、定期予約販売で、同生協の組合員6万人が中津川市加子母の「かしもトマト」40万パックを購入。今年も販売予約の開始に伴い、同生協の「かしもトマト」を担当する職員が産地を訪問し、生産者の思いを知ること、消費者に自信を持ってPRしてもらうのが目的で、今年で4年目の開催です。

同市加子母の選果場・生産者の圃場視察や学習会が行われ、精密土壌分析結果に基づき、不足するミネラル成分を補給し、バランスの良いミネラルの豊富なトマト作りに取り組む「かしもトマト」の特徴を説明。試食も行われ、参加者は、色や品質の良さを実感しました。



選果場で説明を聞く参加者

秋の良品多収化目指す 栗の夏季剪定講習会開催

当JAと東美濃栗振興協議会は7月4日、夏季剪定と第2回クリ新規栽培チャレンジ塾の合同講習会を中山間農業研究所中津川支所で開き、約100名が集まりました。

講習会で恵那農林事務所農業普及課が今年の栗の生育状況について説明。同支所栗園では「名人剪定士」の認定を受けている榎間信明さんと土屋厚子さんが、夏季剪定作業のポイントを話し、参加者全員で実習を行いました。

参加者は「秋の収穫に向けて、夏季剪定をしっかりと行い、病害虫防除を実施し、良品多収化を目指す」と決意を語りました。



剪定作業の実習を行う参加者ら

中津川地域・恵那北地域ふれあい感謝祭 日頃の感謝を込めて開催

当JAは7月9日に恵那北アグリセンターで、7月23日は東濃東市場内でふれあい感謝祭を開き、多くの来場者で賑わいました。

これは当JA管内4地域で、日頃からJA事業を利用する組合員や地域の方へ感謝の気持ちを込めて毎年開いています。

9日の恵那北地域では、各支店でブースを設け、職員らがかき氷の無料配布や五平餅、鮎の塩焼きなどを販売した他、同時に農機・自動車展示販売も行いました。

来場者は「子どもから大人まで楽しめて、夏の暑さを忘れる涼しいブースがいっぱいで嬉しい」と話しました。

恵那・恵南地域は、右の日程でふれあい感謝祭を開催します。



かき氷を無料配布する当JA職員

ふれあい感謝祭

恵南地域：11月25日（土）
恵南アグリセンター
恵那地域：12月10日（日）
恵那アグリセンター



あいさつをする女性連絡協議会三尾揚子会長



体験コーナーを楽しむ来場者



減塩料理を楽しむ来場者

活動の成果発表

女性部が作品展開催

当JA女性連絡協議会は7月21、22日の2日間「家の光グループ・あい♥あい会員合同作品展&元氣交流会」を同JA本店で開き、女性部員ら約400名が参加しました。

各種体験コーナーでは、家の光で紹介されたハンガーを使った針金ハンガーモップ作りや東濃厚生病院栄養士の減塩料理教室、細江万里子さんを講師にパン&デザートづくりが行われ、盛況でした。

また、女性部員によるバザーや喫茶コーナー、Aコープ商品の販売などが行われた他、絵画体験や折り紙教室など、多くのコーナーがあり好評でした。

カンガルー劇場へようこそ！ 女性部サークルで読み語りと食育

当JA女性部のサークル「カンガルー劇場」は6月21日、三尾揚子さんを講師にJA本店で4組の親子が、子どもが喜ぶ絵本の読み方や大豆のまき方を学びました。

サークル名の「カンガルー」は親子をイメージしたもの。若い子育て世代の女性にもJAや女性部活動に親しみ、興味をもってもらうことを目的に、今年で3年目。全8回の開催を予定しており、地元の食材を知る食育などを行います。



平成29年度カンガルー劇場参加者

JA食農リーダー 研修会を各地域で開催

JA岐阜中央会と連携して研修会を行い養成する「JA食農リーダー」は、『まめなかな運動』を展開しています。大豆を管内の小学校に提供し、栽培を通じて味噌づくりや豆腐づくりを行い、日本型食生活のよさと、健康の大切さを再確認することを目指しています。当JA管内には、現在140名の「JA食農リーダー」が登録されています。

各4地域で、6月に研修会が行われ、美濃酪連女性部が講師になって、「食農リーダースキルアップ研修会」が行われました。



講習を受ける参加者

JAひがしみのにこにこ隊 養成研修会を開催

JA岐阜中央会が養成する助けあい組織「にこにこ隊」は高齢者への支援活動に関心がある方を対象に「健康と介護」について学習し、地域での助け合い活動に参加する人を養成しています。

研修会は、全3回の日程で開催し、2回目が6月15日当JA本店で行われ、高齢者向けの「減塩料理」づくりの実習を行いました。参加者は、「助けあい組織」のメンバーとしてボランティア活動を行っています。



料理を学ぶ参加者



恵那市いちご生産者組合設立
満足度の高い
イチゴ生産を目指す

ごく りょうしよく み まい

会議を行う参加者

同プロジェクトが取り組む、中山間農業研究所による極良食味米栽培技術の開発と現地実証の昨年度の結果などを発表し、意見交換が行われました。

● JA ひがしみの

今ずり米
今つき米

ひとなる

地元のおいしいお米をたくさん食べて、健康で元気に暮らしていただきたいという思いを込め、東濃の方言で「育つ」を意味する『ひとなる』と命名しました。

今つき米ひとなる
精米10kg コシヒカリ 4,380円(税込)

今つき米ひとなる
精米10kg **コシヒカリ 4,380円** (税込)

※東海地方配送料込

申し込み、お受取り要領

今つき米ひとなる 精米10kg

【お支払方法】 :お申込み時一括お支払い下さい。
お渡し確認票をお渡します。

■お受取り方法

【お受取り期間】:11月～8月のご希望の月
 【お受取り日時】:宅 配 毎月第3土曜お届け予定
 ※12月は第2土曜お届け予定
 ※上記、商品代金には東海、北陸、関西、信越の送料が含まれて
 おります。
 その他の県は、追加料金がかかりますので、受付窓口にお
 問い合わせ下さい。

毎日食べるものだから、
年間予約で
ラクラク!おいしく!!



●JAひがしみの各支店 ●各アグリセンター
お申込の際、ご希望の月又は受取月・数量のご記入が必要です。

お申込み締切は 9月22日(金)

アグリサポート資金100を使って購入しませんか。
 ～農業用貨物なら、諸経費やオプションなどを含めて100万円以上が対象になります～



ご利用いただける方や返済方法など詳しい内容は、
 お近くのJA窓口にお問い合わせください。

アグリサポート資金100

【資金使途】

農業経営等に必要な設備資金および運転資金

【ご融資金額】

●個人の場合・・・100万円以上3,000万円以内

●法人・団体の場合・・・100万円以上6,000万円以内

【ご融資期間】

15年以内(据置期間3年含む)

【貸付方法】

証書貸付または手形貸付

【金利】

0.2%(全期間固定金利)

【担保・保証】

岐阜県農業信用基金協会の保証を受ける場合に限り
 ます。(保障料率0.37%、申請により金額助成が
 受けられます。)その他個人保証及び担保が必要な
 場合もあります。



ひがしみの地域 おいしいお米コンテスト開催

■ 出品資格

出品品種の栽培履歴の公表並びに情報の開示に同意し、中津川市・恵那市内で米づくりに取り組む農業者(農業団体等を含む)とする。

■ エントリー方法

出品申込書等に必要事項をご記入の上、お米とあわせて提出して下さい。

■ 募集期間 平成29年9月1日(金)～10月31日(火)

■ エントリー米

分析点数 1農家(経営体等)1品種につき2点まで。

1)生産年 平成29年度

2)種 類 水稻うるち玄米

3)品 種 コシヒカリ・あきたこまち・ひとめぼれ

4)1次審査サンプル量 玄米500g(返却いたしません)

*最終審査は実食審査となります。上位5名に選出された方は実食用のお米を10kg提供いたしますようお願い致します。

5)調整状態 玄米は基準水分14.0%以上から15.0%以下であり、ふるい後の玄米とします。

■ 予選審査 平成29年11月1日(水)～11月30日(木)

食味計による測定で高得点上位30点を選出。次に味度計による計測を行い、食味値と味度値の合計値の上位5点を選出!決勝大会では、審査員の実食審査により、最優秀賞、優秀賞が決定されます。

■ 決勝大会 平成29年12月19日(火) 東美濃農協本店3階13:30より

*当日講演会も開催致します。多くの参加をお待ちしております。

■ お問い合わせ 東美濃農業協同組合

営農部営農販売課(TEL:0573-78-0137)

ちぢみほうれんそうチャレンジ塾 参加者募集

■ 目 的

当JA管内では、冬場の寒い気候を活かし、ちぢみほうれんそうの栽培を普及しています。ちぢみほうれんそうは低温で育つことにより、栄養価や糖度が上がる野菜として年々人気も高まっています。本塾では、参加される方に一歩踏み込んだ栽培を理解していただき、栽培・出荷へのきっかけづくりを行います。

■ 主 催

JAひがしみの 恵那農林事務所農業普及課

■ 対象者

原則、JAひがしみの管内にお住まいの方
 冬場の収入確保を考えている方等

■ 開催日程

平成29年8月24日(木)

13時30分～16時

■ 集合場所

JAひがしみの
 中津川アグリセンター

■ 参加費

無料

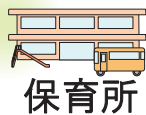
■ お申し込み・お問い合わせ

JAひがしみの本店
 営農販売課 水野・西尾
 電話 0573-78-0139





学校



保育所



公園



病院



街路樹



情報

2017年
8月

ちょっと待って!

住宅周辺などでの農薬散布



住宅地近隣の農地、



市民農園、



家庭菜園



空き地、道端

農薬による健康被害の発生を防ぎましょう!

学校、保育所、病院、公園などの公共施設や住宅地に近い農地・街路樹など、多くの人に健康被害を与える可能性のある場所で農薬を使用する場合には、農薬の飛散防止など周辺住民等への配慮が必要です。

1

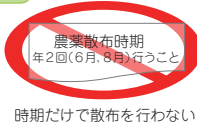
農薬使用の回数と量を減らすために

① 栽培前に、病害虫に強い作物や品種について検討しましょう

② 病害虫や雑草の早期発見に努めましょう

③ 公園・街路樹等では、定期散布はやめましょう

「毎年この時期に散布しているから」といった、病害虫の発生や被害を確認せずに定期的に農薬を散布することはやめましょう。業者に作業を依頼している場合も同様です。



時期だけで散布を行わない

④ 物理的防除を優先しましょう



2

やむを得ず農薬を使用する場合には・・・

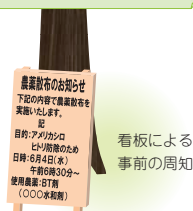
① 事前に十分な周知を行いましょう

農薬を散布する場合は、事前に周囲に住んでいる方等へ十分な時間的余裕をもって幅広く周知しましょう。周知内容には、農薬の使用目的、散布日時、使用予定の農薬の種類を含めましょう。

近隣に学校・通学路がある場合は、学校や保護者等にも連絡しましょう。



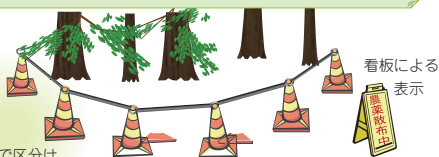
近隣に学校、
通学路がある場合
事前に学校へ連絡、



看板による
事前の周知

② 散布区域に人が入らないよう対策を講じましょう

公園等では看板による表示などを行い、散布区域に気づかず人が立ち入ることがないように配慮しましょう。



散布区域をコーン等で区分け

看板による
表示

③ 飛散しない農薬(剤型)を選びましょう



④ 農薬はラベルに記載された内容を必ず守って使いましょう

⑤ 農薬の飛散防止に最大限の配慮をしましょう

農薬を散布する場合は風が無風が弱いときに行うなど、天候や時間帯を選んで行いましょう。特に、近くに学校・通学路がある場合は子どもに影響のないよう注意しましょう。

粒剤等飛散が少ない農薬や、飛散を抑制するノズルを使用したり、動力噴霧器の圧力を上げすぎないなど農薬の飛散防止を行うとともに、散布作業中は、風向きやノズルの向き等に注意しましょう。



なるべく対象物の近くから
風向きやノズルの向きにも
気をつけて散布しよう

⑥ 農薬の使用履歴を記録し、保管しましょう

⑦ むやみな農薬の現地混用はやめましょう

農薬ラベルに混用についての注意事項がある場合は必ず守りましょう。混用の安全性についての情報がない組み合わせや有機リン系農薬同士の混用はやめましょう。



有機リン同士の混用は行わない

彩菜栽

2017年
8月

秋から春先まで、新鮮な味と
栄養価が魅力のブロッコリー



抗がん作用が高いと注目される野菜です。カロテンとビタミンCが豊富で、免疫力アップや抗ストレス効果も。カリウム、鉄、クロムなどのミネラルも含まれています。

家庭菜園で秋から早春まで長く取り続けるには、品種選びが大切です。頂花蕾^{ちゅうかさい}だけでなく、側花蕾^{そくかさい}も取れる「頂花蕾側花蕾兼用」品種がおすすめです。

種まきの適期は7月中旬から8月上旬までです。育苗期は高温期に当たりますが、秋の生育適温下で最大成長するので育てやすいのです。頂花蕾は10月下旬、側花蕾は10月下旬から3月ごろまで長期間収穫できます。

育苗は、128穴のセルトレイ、少ない本数で良ければ3号ポリ鉢に3〜4粒まきとし、育つにつれて逐次間引きし、1本立てにします。

セル育苗では本葉3〜4枚、鉢育苗ではやや大きく本葉5枚ぐらいの苗に仕上げて本畑に植え付けます。育苗期間は暑い盛りなので、苗はできるだけ風通しの良い、涼しい場所を選び、強光時にはよしず、遮光ネットなどで覆い、灌水^{かんすい}は朝夕にたっぷ

り与えるなど、常に目配りし、入念に管理しましょう。

保水力のある有機質に富む土壌を好むので、植え付ける畑には少なくとも半月ぐらい前に、植え畝の中央部に、くわ幅10〜12cmの溝を掘り、良質の堆肥と油かす、化成肥料を長さ1m当たり堆肥5〜7握り、油かす大さじ7杯、化成肥料同5杯ぐらいを施します。成長が盛んになったら月2回ぐらい、化成肥料を1株当たり大さじ1杯ぐらい追肥します。頂花蕾を収穫したときには多めに追肥し、側花蕾の発達を促します。

根は湿害に弱く、秋の多雨による病害の発生の恐れがあるので株元が低くならないよう、特に多雨後の排

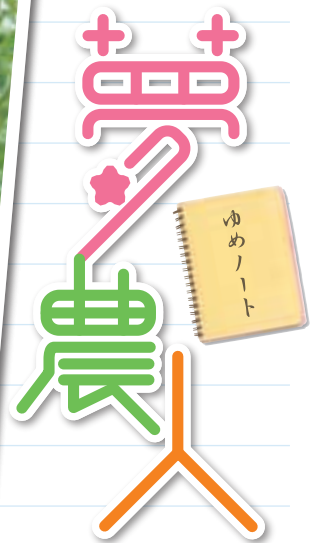
水に注意してください。

茎の太さの割に草丈が高くなるので、風当たりの強い所では小支柱を立てて転倒を防止しましょう。

頂花蕾は径12〜13cmぐらいで収穫します。茎を長く付け過ぎると側花蕾の数が減るので、短く切り取ります。側花蕾は大きくはなりません。径4〜5cmほどで収穫します。いずれも蕾^{ほみ}が大きく膨らむと品質を損ねますので、緑が濃く花蕾が締まっているうちに収穫します。

アブラナ科の野菜は、苗のうちからアブラムシ、コナガ、アオムシや黒斑病、軟腐病などにやられるので、早期に発見、適農薬を散布して防ぎましょう。





恵那市大井町
ふくた

福田真司さん(37)
布巳さん(37)

来年度より本格就農へ力を合わせて日々勉強

「ひがしみの夏秋トマト研修農場」で研修を行う福田さん夫婦。12^{ルア}の圃場で2100本を栽培しています。同研修農場は、東美濃地域で就農を考える人を対象に募集。トマト生産者の圃場近くに研修生の新たなハウスを設け、先輩農家のもと実践的に技術を学べる体制になっています。今年度より開校し、県内外から集まった4組6人が4カ所の研修所でそれぞれ研修を開始しています。同地域は、トマトの生産地として50年を超える歴史ある産地ですが、生産者数、栽培面積ともに10年前と比較すると、減少しており、産地の維持拡大に向け、新規就農者獲得を目指すのが狙いです。

福田さん夫婦も、4月より同研修生として1年間の研修をスタートさせ、来年度より新規就農者となる予定です。当JA主催の夏秋トマトチャレンジ塾に参加した際、トマトづくりの楽しさを実感。また、布巳さんの伯父がトマト農家であり、見本となる存在があったのも大きいと話します。伯父からは「頑張った分、自分次第で頑張れる仕事」とアドバイスを受け布巳さんが先に就農を決意。布巳さんの思いや自身も農業に興味があったため、専業農家として夫婦で頑張ろうと真司さんも今年3月で退職し、夫婦で研修をスタートさせました。



指導農家の鷹見豪さんの指導のもと、現在は毎日収穫に追われながら、圃場の水や肥料の散布量などを日々勉強しています。来年は新たな圃場も見つかり、準備で忙しい中、「今は毎日が楽しい」と話す布巳さん。

「夫婦で協力し、来年度の栽培に向け、しっかりと学んでいきたい」と真司さんも意気込みます。

「新規就農者」募集!

東美濃トマト生産協議会と当JAは、新規就農者を募集しています。見学や短期研修等、随時相談を承ります。

お問い合わせ

JAひがしみの本店営農部
担当:水野・西尾
TEL:0573-78-0137



食菜まめな倶楽部

JA中津川グリーンセンター農産物直売所へ出荷された地元産食材を活かした惣菜類を製造・販売を行っている「食菜まめな倶楽部」。平成23年7月より発足し、6年間同グリーンセンターの営業日に合わせ、営業しています。現在は10名のメンバーで行い、季節にあった美味しいお弁当を販売しているとして好評です。

6月5日、同倶楽部のお弁当が、岐阜県が認定する「ぎふ食と健康応援店」として登録されました。これは、健康づくりをサポートする飲食店などが登録されるもの。

特に、同倶楽部名の「まめな」にちなんで地元産大豆の煮豆を入れた特製「まめなコロッケ」は、ヘルシーで栄養価が高いと高い評価をえました。



まめな弁当(コロッケ)

価格：420円(税込)

販売：JA中津川グリーンセンター
敷地内(TEL62-4147)

定休日：水曜日

営業時間：午前8時30分～午後6時
4月～9月まで

☆JAの星

恵那北部支店
町野 亜美



Profile

担当：金融窓口
入組：3年目
出身：恵那市長島町
血液型：O型
趣味：旅行

明るいおもてなし

多くのお客さまに顔を覚えてもらえるように、笑顔を大切にして、親しみやすい職員を目指しています。

キラキラ☆ ひがしみのっ子



恵那市岩村町

平出 羽瑠くん(3)・碧羽ちゃん(4)

いつも元気な2人

明るく、お話が大好きな碧羽ちゃんと、よく食べて元気いっぱいな羽瑠くん。2人とも保育園が大好きで元気に通っています。ブロック遊びやおままごとなど、2人仲良く遊んだり、祖父母のお店でお客さんと、楽しくお話をしています。「私はアイドルになりたい」「僕はレンジャー」と夢を語ってくれます。



ひがし君・みゆちゃんの おはなし日和



☑ 岩村の芋姫様です。今年もさつまいもを植えます。秋には美味しい芋さき干しとなります。待ってくださいね。
恵那市岩村町 後藤通男さん



☑ 「こんな可愛いきゅうりの赤ちゃんが生まれました」
中津川市落合 切石あや子さん

☑ 恵那市立東野小学校の3年生は7月11日、地域のトマト栽培農家と当JAの中津川トマト選果場を訪れました。
この日、同市トマト生産者の圃場を訪問し、安全・安心できるトマトの栽培方法や、収穫作業、食卓に届くまでの過程などを学びました。



選果場を見学する子どもたち



稲の成長に合わせた病害虫の防除方法を確認する参加者

☑ 当JAは7月上旬、管内各地域で水稻青空教室を開催しました。
中津川地域には、約15名が参加。農家の圃場を使い、同JA職員が講師になり、病害虫の防除、穂肥の施肥時期などを確認。参加者は、「少人数で行われるため質問がしやすく、分かりやすい」と好評でした。

☑ 中津川地域には、約15名が参加。農家の圃場を使い、同JA職員が講師になり、病害虫の防除、穂肥の施肥時期などを確認。参加者は、「少人数で行われるため質問がしやすく、分かりやすい」と好評でした。

訂正

7月号で紹介しました「さといもの花」は、正しくは「蒟蒻芋の花」です。お詫びして訂正いたします。

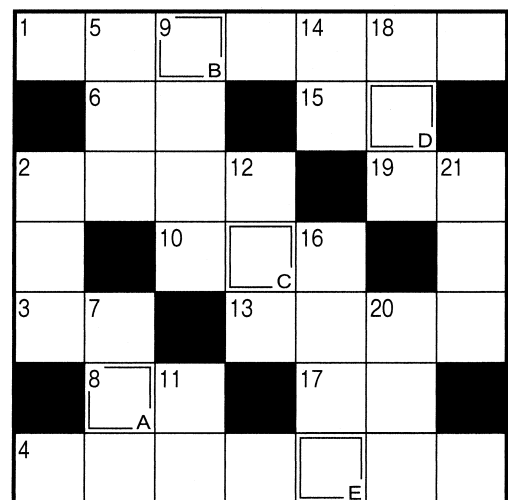
頭の体操

■タテのカギ

- ②小玉や種なし、四角い物などもある果実
- ⑤縁も——もない人に助けられた
- ⑦117に電話をかけると聞けます
- ⑨ロシアの酒の代表格
- ⑪ワインボトルの底に沈んでいることも
- ⑫オランダゼリともいう葉野菜
- ⑭木などにぽっかりと開いた空洞
- ⑯国語、算数、理科、社会など
- ⑰コンニャクイモの生産量日本一の県
- ⑱目上の人に勤める席
- ㉑アンデス、プリンスといえば

■ヨコのカギ

- ①もくもくと高く盛り上がる雲
- ②洋風の上履きの一つ
- ③食事作りや掃除、洗濯など
- ④武田信玄から連想される四字熟語
- ⑥目や鼻や口があります
- ⑧酔うと赤くなる人も
- ⑩古い地層から恐竜の——が見つかった
- ⑬和風の宿泊施設です
- ⑮——より証拠
- ⑰日本列島をぐるりと取り囲んでいます
- ⑱歩き過ぎて足の裏にできちゃった



【問題】二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

■応募要領

ハガキにクイズの答えと、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、JAまたは広報誌に対する意見、要望などをご記入の上、下記までお寄せ下さい。

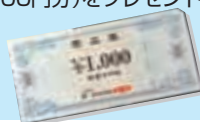
〒509-9132 中津川市茄子川1646-19
JAひがしみの 本店 組織広報課

■応募締切日

平成29年8月25日(金)

■賞品

正解者の中から抽選で10名様に農協全国商品券(1,000円分)をプレゼント



■7月号の答え

カブトムシ

■クイズ当選者 (敬称略)

小島 和子、古井 充子、石田 しげ子
田口 清美、島崎 照代、牛越 富美子
池戸 忠道、根崎 茂、早川 紀美子
林 眞澄

理事会

第4回理事会

(平成29年7月20日)

次の事項が報告、または審議されました。

【附議事項】

- ①組合の業務及び財産の状況に関する説明書類(ディスクロージャー資料)について
- ②理事との利益相反契約について

【報告事項】

- ①第1四半期の余裕金運用状況について
- ②反社会的勢力との取引排除に係る対応状況について
- ③組合員の加入及び脱退の状況について
- ④平成28年度部門部署別分析結果について
- ⑤リスク管理債権(第1四半期)の現状について
- ⑥美濃酪連の決算結果について
- ⑦恵那市農業振興協議会及び恵那市農業再生協議会の委員の推薦について
- ⑧水稻育苗施設の実績について
- ⑨6月末の事業実績について
- ⑩その他

JAひがしみの概況

(平成29年6月30日現在)

組合員数	32,554人
出資金	26億3,168万円
貯金	2,196億6,619万円
貸出金	396億1,481万円
共済保有高	6,718億7,272万円
購買品供給高	16億7,977万円
販売品取扱高	8億8,366万円

2018年版

JAオリジナルカレンダー写真募集!

- テーマ 「東美濃の四季」 東美濃地域(中津川市、恵那市)の四季の風景、自然、風物、行事等を捉えた作品。
- サイズ ※カラープリントA4以上
(原則として横位置写真で、過去1年以内に撮影されたもので未発表のものに限る)
- 応募点数 1人4点以内
- 締め切り 8月末日
- 募集要項、申し込み用紙はJA各支店の窓口で配布しております。
- 問合せ先 JAひがしみの 本店組織広報課
(0573)78-0124

無料相談日

JAでは、各種相談日を設けていますので、お気軽にご利用ください。
各相談場所へ事前に電話予約をしてください。

内容	月	日	場 所
年金相談	8月	9日(水)	恵那支店
		//	坂下支店
		16日(水)	中津川支店
		//	加子母支店
		//	付知支店
		//	下野支店
	9月	6日(水)	山岡支店
		//	明智支店
		13日(水)	恵那支店
		//	坂下支店
内容	月	日	場 所
法律相談	8月	9日(水)	下野支店
		10日(木)	本店
		16日(水)	恵那支店
		//	山岡支店
	9月	13日(水)	下野支店
		14日(木)	本店
内容	月	日	場 所
税務相談	8月	9日(水)	恵那支店
		//	山岡支店
		16日(水)	中津川支店
		22日(火)	下野支店
	9月	13日(水)	恵那支店
		//	山岡支店

葬儀無料相談

内 容	月	日	場 所
葬儀相談 10:00~14:00	8月	12日(土)	JA葬祭 アグリホールえな ☎0573-22-9876
		29日(火)	
	9月	4日(月)	
		10日(日)	
		16日(土)	

内 容	月	日	場 所
葬儀相談 9:00~12:00	8月	18日(金)	岩村支店
		23日(水)	
	9月	20日(水)	明智支店
		26日(火)	

ご案内窓口 市外局番 ☎(0573)

本 店	☎78-0124	上 村 支 店	☎47-2311
中 津 川 支 店	☎65-3144	坂 下 支 店	☎75-4111
恵 那 支 店	☎25-5291	加 子 母 支 店	☎79-2241
山 岡 支 店	☎56-2121	付 知 支 店	☎82-2121
明 智 支 店	☎54-2171	下 野 支 店	☎72-2061

ふれあい訪問日

平成29年9月の
ふれあい訪問日

12日(火)・13日(水)

緊急連絡先

▶ 事故をしてしまったら	TEL 0120-25-8931
▶ 通帳・キャッシュカードを無くしてしまった	TEL 0120-215-522
▶ 葬儀に関するご相談は	TEL 0120-09-8382
▶ 電化製品のお問い合わせは	TEL 0573-78-0122
▶ プロパンガス・ガス器具のお問い合わせは	TEL 0573-68-7744



(カレンダー応募作品より)

蛭川のスイレンを撮影しにきました。夏らしく、涼しさを感じる一枚にしました。

今月の表紙

水田の夏
撮影・酒井隆行さん
(中津川市福岡)
撮影地・中津川市蛭川

新鮮食材で 楽しくクッキング

管理栄養士の
「おすすめレシピ」

RECIPE
1

なすのはさみ焼き



皮の紫色はポリフェノールの
ナスニン(アントシアニン系色素)です。
これらをたっぷり吸収するには、皮ごと料理しましょう。

材料

(4人分)

なす	3本	しょうゆ	小さじ2
鶏ひき肉	350g	酒	小さじ2
玉ねぎ	1個	みりん	小さじ2
ねぎ(又は大葉)	お好み	片栗粉	大さじ2

作り方

- 1 玉ねぎとねぎ(又は大葉)をみじん切りにする
- 2 鶏ひき肉と①と全ての調味料を混ぜ合わせる
- 3 なすは斜め1cm幅で切り、片面に片栗粉(分量外)をまぶす
- 4 片栗粉が付いてる面で②をはさむ
- 5 フライパンに並べ、ふたをして両面焼く

1人当たりの栄養量

エネルギー: 197kcal たんぱく質: 19.8g 脂質: 7.4g 塩分: 0.4g



材料

(4人分)

なす	1本	たれ	お好み
豚バラスライス肉	8枚	・ボン酢	
パプリカ	1個	・ケチャップ	
塩・こしょう	少々	・ソース など	

作り方

- 1 なすとパプリカをスティック状に切る
- 2 豚バラ肉で①を巻く
- 3 塩・こしょうを振り、フライパンで焼く
- 4 お好みでソースやたれをかける

1人当たりの栄養量

エネルギー: 95kcal たんぱく質: 3.4g 脂質: 7.0g 塩分: 0.2g



なすの肉巻き



疲れた体には、
ナスニンが応援!!

Heartful Communication

ひがしみの

JAひがしみの
ホームページ

ひがしみの産のおいしいレシピや食材、最新情報はこちら

<http://www.ja-higashimino.or.jp/>

発行: 東美濃農業協同組合(JAひがしみの) ● AUGUST / Vol.233 2017年8月1日発行

編集: 総合企画部 組織広報課 〒509-9132 岐阜県中津川市茄子川1646-19

TEL0573・78・0124 FAX0573・68・7724 (E-mail) koho@ja-higashimino.gjadc.jp

JAひがしみの

検索

